

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2024.02.01)

文：武田(写真も)：写真；寺田

日時：2024(令和6)年2月1日(木) 9:30～15:00

気象：曇

活動エリア：45 林班ろ-03

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ(里山林保全；倒木処理、林床整備)

参加者 猪川 誠、石田美和、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、竹歳三喜子、寺田昭弘当山清之 (8名)

<一月は逃げる、二月は・・・>

日の足取りは早いもの、気が付けば二月。一月中は定例の第三日曜(雨模様)、その代替の25日(低温+降雪)と作業は出来ず、ひと月ぶりの森林づくりとなる。令和5年度のさともり事業は当月半ばまでなので今日で補助事業としては一区切り、歩道を下って45林班ろ-03の溪流部の枯損木処理と、途中、ニヶ所のモニタリング調査区の現況確認に赴く。

本山寺山の自然二景



<今日の成果>

活動地は岩に苔が群生した幽邃な趣きが漂い、斜面や溪流には随所に枯損木が見られる場所。気温は高め、風も渡らず鋸を使っていると汗をかくような気象。倒木・枯損木 15本以上、面積 100×5=0.05haを整備。但し、活動地中最下部なので、帰りの登り標高差100mはキツイ。ニヶ所のモニタリング調査区はスッキリした仕上り。

<写真編①>



<写真編②>

<枯木に絡む葛は成長していて処理に一苦労>



<枯木に絡まる太い葛>



<スッキリしている調査区(例)>



<溪流両岸には随所に倒木・落枝>



<溪流下部の作業後>



<「鹿よけくるりん」に守られた被災地の苗木>

